

教育と文化

市男女協働参画出前講座を利用してください

市男女協働参画懇話会『いまりプラザ』では、さまざまな団体の会合などに出向き、出前講座を行っています。

男女協働参画について、皆さんに分かりやすく身近に感じてもらうため、**紙芝居やクイズ型カードゲーム、朗読劇**など、団体や人数に応じて内容を工夫しています。

出前講座のテーマの例

- ① 男女協働参画について全般的なこと
- ② 男女協働参画の視点から考える防災
- ③ ワーク・ライフ・バランスに関すること
- ④ DV（ドメスティックバイオレンス）防止に関すること
- ⑤ ハラスメント防止に関すること
- ⑥ LGBTに関すること

※その他もご相談ください。



講座の様子

国は、平成11年6月に施行された『男女共同参画社会基本法』の理解と関心を深めるため、毎年6月23日から29日までを『男女共同参画週間』と定めています。

今年度の男女共同参画週間
キャッチフレーズは、『走り出せ、性別のハードルを超えて、今』です。これは、女性も男性も、自らの意思により個性と能力を発揮して活躍できる職場を作るためのキャッチフレーズとして公募で選ばれました。



6月23日（土）～29日（金）は

『男女共同参画週間』です

～走り出せ、

性別のハードルを超えて、今～

● 問合先 男女協働推進課

男女協働推進係（☎2115）

郷土の文化財

伊万里湾の歴史シリーズ⑩

● 問合先 生涯学習課文化財係（☎3186）

伊万里湾大橋

伊万里湾を象徴するものの一つに、伊万里湾大橋があります。

この橋ができる以前の人々の生活はどのようなものだったのでしょうか。

湾内沿岸の村や島の人たちの交通や物資の交流は、湾内を巡行する定期船が担い、生活を支えました。瀬戸町にあった船着場は、魚市場が築港へ移転すると、定期船の拠点となりました。

しかし、昭和35年以降は、道路の拡張や舗装が進むとともに、自動車が普及したことにより、徐々に船に替わってバスや自家用車が使われるようになります。また、昭和42年の水害後に、伊万里川の川幅が2倍に拡幅されたからは、定期船はなくなりまし。それ以降の交通は、国道を迂回する

など、大変不便なものであったと推測されます。

平成15年3月の伊万里湾大橋の開通以降は、東西間を行き来する時間や距離が大幅に短縮され、物資の運搬や通勤などに役立ち、多くの人が利用しています。



↑瀬戸町海岸から見た伊万里湾大橋